

順位	氏名（議席）	発言の要旨
24	萩野 基行（12）	<p>1. 互助による高齢者支援の推進について</p> <p>本市では高齢者の困り事への支援として、富士市生活・介護支援サポーター制度を平成26年度から、生活支援体制整備事業を平成29年度から開始しております。</p> <p>高齢者の困り事とは、ごみ出しや重い荷物の片づけ、電球の交換、買物・通院など多岐にわたり、本市ではサポーター人材の育成に力を入れ、26の小学校区を中心とした住民主体の支え合いの基盤が着実に培われてきた。</p> <p>しかしながら、全市に広く普及しているとは言いがたく、まだまだ様々な困り事の相談を受けることが多い。そこで以下質問する。</p> <p>(1) 生活・介護支援サポーター制度のサポーター数の状況と成果、課題を伺う。</p> <p>(2) 生活支援体制整備事業の補助金を活用した地区及びその状況と成果、課題を伺う。</p> <p>(3) 生活・介護サポーター制度にはポイント制度があり、以前先輩議員がデジタル化に向けた取組について一般質問をした際、調査研究していくとの答弁であったが、その後どうなったか伺う。</p> <p>(4) 地区によっても温度差があったり、やりたいけれどもできない地区もある。このような地区には、市が積極的にアプローチ、支援をしていく必要があると思うがいかがか伺う。</p>